

# 地域と学校を結ぶ！

～学校支援ボランティア活動の充実のために～

現在、家庭や地域の教育力の低下や子どもたちを取り巻く教育環境の悪化が指摘されています。

今こそ、地域社会が学校とともに、子どもの健やかな成長のために、その教育力を発揮する時です。



学校支援ボランティア活動の充実

「地域コーディネーター」が学校と地域の方々を結ぶ重要な役割を担います。



## 学校支援ボランティア活動で期待される効果

### ○地域の方々にとって・・・

- ・自分のもつ専門的な知識や特技を子どもたちに還元することで、自分の中の教育力に気づき、ものの考え方が深まり、人間性が豊かになります。
- ・学校での子どもたちの様子がわかり、学校や子どもたちとのつながりがもてます。
- ・向上心が芽生え、学習意欲が喚起され、地域住民として子どもたちの未来に対する責任を感じることが出来ます。

### ○子どもたちにとって・・・

- ・地域の方々との活動をとおして、社会性やコミュニケーション能力を育み、豊かな人間性を培うことができます。
- ・地域の方々の専門的な知識や技能に触れることにより、学習意欲が喚起され、自ら問題を解決しようとする資質や能力を育みます。

### ○学校にとって・・・

- ・地域の方々の専門的な知識や技能を生かした身近で、内容豊かな授業が展開できます。
- ・学校や子どもの様子を地域の方々に理解してもらえ、開かれた学校になり、学校と地域を強く結びつけかけとなります。

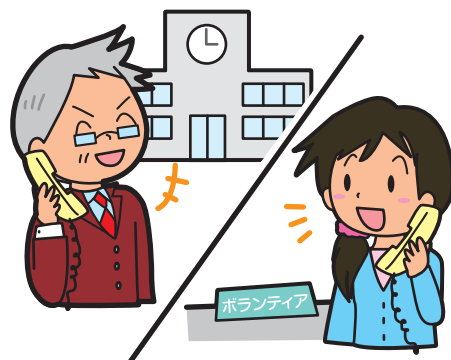
とちぎ学校支援活動運営協議会  
栃木県教育委員会



# 地域コーディネーターの活動

地域コーディネーターは、学校支援ボランティアが実際に活動する際に、学校とボランティア、あるいはボランティア同士が、円滑に連携、協力できるよう連絡調整などを行います。学校支援ボランティア活動の中核的な役割を担う大変重要な存在です。

地域コーディネーターには、特に子どもたちや学校の状況、ニーズを把握していることや地域の情報に通じていることが求められます。



## 地域コーディネーターの主な役割

### 1 つなぐ

学校のニーズとボランティアの意思、提案を調整し、実際の活動につながるように調整します。

### 2 知らせる

学校のニーズや情報をボランティアへ、ボランティアの意思や提案、人材の情報を学校へ知らせます。

### 3 育てる

ボランティア活動が円滑に進むよう、学校のしくみや子どもの実態などを学ぶ機会や、教職員を対象としたボランティアや地域社会についての研修機会を提供します。

### 4 支える

ボランティアや教職員のとまどいや悩み、トラブルに対して、相談を受けたり、アドバイスしたりします。そのために打合せ時間の設定など両者の円滑なコミュニケーションの場をつくります。



地域コーディネーターの人材としては、退職した教職員やPTA役員、学校支援ボランティアの代表経験者などが考えられますが、学校の規模や地域の実態等により様々な方々の参加や取り組み方も可能です。地域と学校を結ぶ要となりますので、特に「学校支援ボランティアの活動」や「学校との連携、協力」の内容や方法について、十分に把握しておく必要があります。

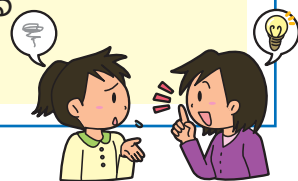
## 地域コーディネーターによる学校支援ボランティア活動への支援

学校支援ボランティアの活動内容は、いわゆる学校管理下の活動が対象となりますので、研修や打合せの機会にボランティア一人一人に学校の仕組みや教育方針、子どもたちの様子等をよく理解してもらい、自らができることを、できるときに、できる範囲で活動してもらうことが重要です。

活動内容を全て学校側で決めたり、考えたりすると、一見合理的なようですが、教員の負担はますます増えるばかりです。地域コーディネーターが間に入り、ボランティア自身が考えて、学校との合意によって行動に移せるように支援することが大切です。

学校支援ボランティアの活動は、下記のことを実感できるように支援してゆくことが大切です。

- ①ボランティア自身が成長できる
- ②地域と学校との連携、協力や良好な関係づくりに大きな役割を果たせる
- ③学校を核としてより良い環境や地域づくり・まちづくりにつながる



## 学校支援ボランティアとの相談や情報交換の場の設定

学校支援ボランティア活動では、「人材バンクに登録しても、いつまで待っても声がかからない」「学校側が協力してくれない」等の様々な悩みや問題をもつ方も出てきます。地域コーディネーターは「声がかかるまで待つというのではなく、主体的に活動を提案していきましょう」「お互いに連絡をとりながら良い関係を根気強く作っていきましょう」などと助言ができるよう、学校支援ボランティアを支えるための相談や情報交換の場を設定することも大切です。



## 県内で行われている学校支援活動の内容

学習支援活動……小学校の英語学習補助、家庭科のミシン指導補助、習字・水泳などの指導補助、読み聞かせ、食育体験（農業）など  
部活動指導……野球部、ソフトボール部、合唱部等の部活動支援など  
環境整備……資料室清掃、花壇整備、図書修繕など  
登下校安全指導……つきそい、立哨による下校指導、防犯腕章着用による登下校時巡回、防犯協力車による地域内巡回、あいさつ運動など

# 学校支援ボランティアとともに

## 学校の地域との連携・協力の推進に向けて

学校も、校内・校外での研修の場等を通じて、積極的に地域と連携して、地域の力を借りながら、地域ぐるみで子どもを育てていこうとする意識をもつことがたいせつです。



## 学校支援ボランティアの受け入れ

### ・学校支援ボランティアへの支援

→学校側にも「ボランティア活動を受け入れる」「活動の場を提供する」という視点が必要です。

### ・学校支援ボランティア担当者の配置

→教職員にも学校支援ボランティアにも、学校側の窓口が誰であるか明確にしておくことが大切です。

※社会教育主事有資格者との連携を図りましょう。

### ・校内における学校支援ボランティア活動の研修等の推進

→校内研修等を実施し、教職員の理解を深めることが必要です。

### ・学校支援ボランティア活動の場の開拓

→教職員とボランティア等が協力して、ボランティア活動につながりそうな活動をリストアップしておきます。

### ・学校と学校支援ボランティア間の情報の共有化

→学校の経営計画、学年目標、学校の一日の流れや子どもたちのことなど、可能な範囲で情報提供を依頼し、お互いにコミュニケーションを十分にとって、学校と地域で協力して子どもを育てていく機運を高めていきます。

### ・学校支援ボランティアの環境整備

→無理のない範囲で、学校支援ボランティアの活動が分かるように掲示板を設置したり、ボランティアルームを準備するなど、活動しやすい環境を整えておきます。

## ボランティアを迎える教職員の心得とは

- ボランティアとよい人間関係を築きます。
- ボランティアとのコミュニケーションを十分にとります。
- ボランティアの安全に配慮します。
- 元気なあいさつをし、全職員で気持ちよく対応します。
- しっかりした計画の中で、継続的に来てもらえるよう無理のない計画を立てます。
- ボランティアの方々一人一人の考えを大切にします。



☆☆お問い合わせ先☆☆

栃木県教育委員会事務局生涯学習課  
Tel:028-623-3408 Fax:028-623-3406

☆☆ボランティアはする側とされる側は対等です。  
ともに考え、ともに活動することが大切です。